

Waseda Vision 150 高等学院の将来構想の進捗状況報告

1. 2023 年度報告

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－各学部・研究科における入試制度改革の実施状況－

① 入試広報活動の徹底

- ・高等学院の優位性をアピールし、一貫教育に相応しい優秀な生徒を確保するよう努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策が一段落し、学校説明会の実施においては例年通りの制限なしで対面開催実施した。(実施日：高校：9月17・18日、10月29日、中学部：6月18日、9月17日、10月29日)
- ・各種民間団体が主催する学校説明会や民間メディアの取材にも積極的に応じた。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況－

① ICT を活用した新しい学びの創造

ICT を活用した教育のデジタル化をさらに推進し、柔軟で持続可能な教育方法をあらゆる学習機会において確立し、基礎的・応用的な学力を培うと共にその学びの質を保証し、新しい時代にふさわしい学びを創造している。中学部では、1人1台のパーソナルコンピュータ必携化を目指し ICT 教育を充実した。高等学校においても新学習指導要領実施に際し、すべての教科において探究的な学びの実現に向け ICT を活用し、全員に対して統計やプログラミングを必修化し、データサイエンス教育を展開している。

② 文理を融合しグローバルな視点をもった多様な学びの空間の確立

教科においては、社会科学系、自然科学系の授業そして総合的な探究の時間等において SDGs など文理を融合したグローバルな課題に取り組む探究的な学習を一層推進した。またここ数年、中断・縮小していたさまざまな行事や今年度新たに開始するニュージーランドへの短期留学を始めとする国際交流を展開し、部活動等、教科外活動も活性化した。そしてこれらの取り組みを通して、グローバルな視点を持った多様な学びの空間を確立した。

③ キャリアデザイン教育の推進

今年度からは2年生を対象に、学部モデル授業の実施、学院 OB などによる学部説明会などを実施し、各学部の協力を得て学部説明会などを実施した。学院生が進学後も各学部・各分野で活躍できるよう中高大一貫教育を見据えたキャリアデザイン教育を推進している。

「将来の学部・学科進学を見据えた基礎学力の養成」

高大接続テスト（早稲田大学進学後に学術・研究の途を進むにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト）の改善を検討し実施する。

「進学後の可能性を広げる取り組み」

- ・OB 進路講演会（社会人 OB 約 20 名、2 年生・3 年生対象）5 月実施
- ・学部連携・・・モデル講義（各学部）5 月実施
- ・日本医科大学への医学部進学指導の充実とキャンパスツアーへの参加

④ 附属連携プロジェクト (WASS) 活動の推進 (本庄高等学院との協働)

生徒の主體的な活動としてのプロジェクト活動を活性化し、本庄高等学院や系属校との交流を実施した。

例：環境プロジェクト、附属連携プロジェクト、教育プロジェクトなど。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

－研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況－

① 研究年誌発行（68号）

② 外部研究資金への応募および獲得の推進

高等学院教員の文部科学省科学研究費、民間研究資金、学内研究資金などの獲得を促進に努めた。
科研費（3件）、学内特定課題研究助成費（26件）

③ 教員研修（ファカルティ・ディベロップメント：FD）の充実

「普通救命（心肺蘇生法・AED）講習会」（3月：12名）

（4）国際関連（Waseda Vision 150 核心戦略8 関連）

－派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等－

① 学術交流協定締結校・機関（現在）

国立政治大学附属高級中学校（台湾）、日仏高等学校ネットワーク・コリブリ（フランス）、孔子課堂（中国）、ゲーテ・インスティテュート（ドイツ）、ハナ高等学校（韓国）、サントペテルブルク国立学校 583（ロシア）、ザビエルカレッジ（オーストラリア・メルボルン）、セントポールカレッジ（オーストラリア・シドニー）、北京大学附属高級中学（中国）、ラインガウギムナジウム（ドイツ）、ロクロア高等学校（フランス・パリ）、エデュケーション・ニュージーランド、パーマストンノース・ボーイズスクール（ニュージーランド：新規）

② 派遣留学（長期）

留学一種：6名（USA：3名、オーストラリア：1名、フィリピン：1名、ニュージーランド：1名）
留学二種（留学期間を含んで3年間で卒業できる留学制度）：4名（USA：2名、カナダ：2名）

③ 派遣留学（短期）：30名（ニュージーランド：27名、コリブリ：3名）

④ 受入留学：3名（チリ、ポルトガル、スペイン：各1名）

⑤ 学術協定締結校・機関等による交流（含む：オンライン）

新型コロナウイルス感染症も一段落し、国際交流も従来の取り組みが復活した。

- ・PASCH サッカープロジェクト：5月（会場：東京横浜独逸学園）12名、11月（会場：高等学院）11名
- ・PASCH 青少年ドイツ語研修プログラム「Jugendkurs+職業」*ドイツ語力 B1 以上必須：6月25日～7月15日（参加者1名：東アジアで唯一の参加者）
- ・ドイツ連邦共和国政府高校生等招聘事業（PAD）：7月10日～8月4日（参加者：1名）
- ・PASCH SAP 社提供 Design-Thinking ワークショップ：7月（参加者：3名）
- ・PASCH 青少年ドイツ語研修プログラム「Jugendkurs」：7月30日～8月20日（参加者：8名）
- ・PASCH コーラスプロジェクト：8月24日～26日（参加者：3名）
- ・Königin-Charlotte-Gymnasium 生徒訪問および交流会：9月（参加者 中学生・高校生：15名）
- ・PASCH ドイツ大使館訪問：10月（参加者：5名）
- ・PASCH ドイツ企業訪問：SAP 社 10月（参加者：2名）、Merck 社 11月（参加者：2名）
- ・PASCH DAAD（ドイツ学術交流会）提供 留学説明会：11月（参加者：3名）
- ・PASCH の集い：11月（参加者 中学生：4名、高校生：10名）
- ・PASCH 生徒新聞（2023年12月発行）：記事7件、記事作成者：10名
- ・日仏高等学校ネットワーク・コリブリ短期フランス留学：3月（参加者：3名）
- ・東京国際フランス学園の訪問：3月（参加者：12名）
- ・高校生親善訪中研修：8月（参加者：5名）
- ・台湾政治大学附属高級中学との交流活動：11月（参加者：25名）
- ・ハナ高校国際シンポジウム（韓国）とのオンラインシンポジウム：7月26日（参加者：3名）

・ハナ高校短期交換留学：今年度は0名

⑥ **その他：国際交流プログラムへの参加**

・TYCA（東芝国際交流財団 ASEAN 交流プログラム）：11月～3月（参加者：2名）

(5) その他

－ (1)～(4)に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等－

① **上石神井キャンパス整備の推進（第三期工事）**

教員室、理科実験教室、家庭科室、食堂、ラーニングcommonsなど高等学院の教育の特色を実現するのに相応しい校舎建設（第三期工事）に向けて、大学本部とさまざまな交渉の機会を持った。また、テニスコートの防球ネットを整備し、近隣への安全対策を行った。

② **あらゆる災害から命を守る安心・安全なキャンパスづくり**

新型コロナウイルスに対応する感染拡大は一段落したが、首都圏大規模地震対策などに対し、防災備蓄倉庫を見直し整備した。また、キャンパス内の凍結危険箇所を明示し、安心・安全なキャンパスづくりに心がけた。

③ **カーボンニュートラルなど地球環境を意識したキャンパスづくり**

SDGsなどの目標（7、11、13など）に対し、教職員・生徒全員がカーボンニュートラルなど地球環境を意識して行動している。

④ **新制高等学院創立75周年事業の企画・準備**

1949年に新制高等学校として再出発した高等学院は2024年度に75周年を迎える。そのため記念事業実施のため今年度から委員会を設置し企画・準備を開始した。

2. 2024 年度計画

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－各学部・研究科における入試制度改革の実施計画－

① 世界に羽ばたく人間を創る早稲田の一貫教育の推進 (首都圏の優秀な生徒の確保)

卒業生のほぼ全員が早稲田大学へと進学する学院生に対し、三つの教旨を胸に「早稲田スピリット」をもって、中学生は 10 年間、高校生は 7 年間の「早稲田の一貫教育」のなかで自由・平等そして平和な社会に貢献する「すこやかで、しなやかでそしてたくましい」人材を育成する。

② 入試広報活動の積極的展開

- ・早稲田の一貫教育に相応しい優秀な生徒を確保する。
- ・高等学院主催の学校説明会の実施だけでなく、民間主催の学校説明会などにも積極的参加し、メディア等を活用した広報活動を推進する。

③ 「思考力・判断力・表現力」など総合力を評価する多様な入試の実施

中学部では面接、高等学校では「自己推薦入試」方式の総合的な選抜や「一般入試」での論文入試の実施など、思考力・判断力・表現力を問う問題の出題や総合力を問う入試選抜を実施する。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画－

ICT (情報通信技術) を活用する教養教育の実現

教養教育を施すことで、専門教育を見据えた早稲田の一貫教育に相応しい優れた生徒を育成する。

- ・基礎基本教育の徹底 (3 R's^{*1}) …読む力、書く力、数学力
 - ・探究的な学びの推進 (4 C's^{*2}) …批判的思考力、コミュニケーション能力、協働力、創造的問題解決能力
- *1) 3 R's : Writing, Reading, Arithmetic (Discipline-Based Learning).
*2) 4 C's : Critical thinking, Communication, Collaboration, Creative problem-solving, (Interdisciplinary Learning).

① ICT を活用した新しい学びの創造

ICT を活用した教育のデジタル化をさらに推進し、柔軟で持続可能な教育方法をあらゆる学習機会において確立し、基礎的・応用的な学力を培うと共にその学びの質を保証し、新しい時代にふさわしい学びを創造する。

- ・中学部：パーソナルコンピュータ必携化のもと、ICT 教育を充実する。
- ・高等学校：パーソナルコンピュータ必携化を実現し、すべての教科において ICT を活用した探究的な学びを推進する。また、全員に対して統計やプログラミングを必修とし、データサイエンス教育を充実させる。

② 文理を融合しグローバルな視点をもった多様な学びの空間の確立

すべての教科、とりわけ社会科学系、自然科学系の授業そして総合的な探究の時間等において文理を融合したグローバルな課題に取り組む探究的な学習を一層推進する。今年度から新設したニュージーランド長期留学を始めとするさまざまな国・地域との国際交流を展開し、部活動、プロジェクト活動など教科外活動を活性化する。そしてこれらの取り組みを通して、グローバルな視点を持った多様な学びの空間を確立する。

③ キャリアデザイン教育の推進

－学部アドミッションポリシーにかなう中高大一貫教育の推進(大学入学者選抜を経ない学部進学)－

ミスマッチのないキャリアデザイン教育に取り組む。具体的には、今年度からは 2 年生を対象に、学部モデル授業の実施、学院 OB などによる学部説明会などを実施し、各学部の協力を得て学部説明会などの実施を計画している。学院生が進学後も各学部・各分野で活躍できるよう中高大一貫教育を見据えたキャリアデザイン教育を推進する。そして引き続き、高大接続テスト (早稲田大学進学後に学術・研究を進めるにあたって求められる基本的な

知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト)の改善し充実させる。

- ・OB 進路講演会 (社会人 OB 約 20 名、2 年生対象) 5 月実施
- ・モデル講義 (各学部) 5 月実施
- ・学部生と学院生との連携による進路説明会 (希望者) 実施日未定
- ・日本医科大学への医学部進学指導の充実とキャンパスツアーの実施 (希望者) 4 月、9 月実施

④ 附属連携プロジェクト (WASS) 活動の推進 (本庄高等学院や他の系属校との協働)

生徒の主體的な活動としてのプロジェクト活動を活性化し、本庄高等学院や系属校との連携を企画・実施する。

例：環境プロジェクト、附属連携プロジェクト、教育プロジェクト、起業・投資プロジェクトなど。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

－ 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み計画 －

① 研究年誌発行 (69号) と充実

② 外部研究資金への応募および獲得の推進

高等学院教員の文部科学省科学研究費、民間研究資金、学内研究資金などの応募を促進する。

③ 教員研修 (ファカルティ・ディベロップメント : FD) の充実

- ・「普通救命 (心肺蘇生法・AED) 講習会」
- ・生徒の発達等に関するカウンセリング研修会
- ・コンプライアンスに関する研修会
- ・研究倫理教育に関する研修会

その他、ネットワークを活用したオンデマンド授業環境の整備、教材開発、授業形態の研究を充実させる。

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等 －

新型コロナウイルス感染症の影響により中断した国際交流を再開する。

① 学術交流協定締結校・機関の新規開拓

国立政治大学附属高級中学校 (台湾)、日仏高等学校ネットワーク・コリブリ (フランス)、孔子課堂 (中国)、ゲーテ・インスティテュート (ドイツ)、ハナ高等学校 (韓国)、サンクトペテルブルク国立学校 583 (ロシア)、ザビエルカレッジ (オーストラリア・メルボルン)、セントポールカレッジ (オーストラリア・シドニー)、北京大学附属高級中学 (中国)、ラインガウギムナジウム (ドイツ)、ロクコア高等学校 (フランス・パリ)、エデュケーション・ニュージーランド、パーマストンノース・ボーイズスクール (ニュージーランド : 新規)

② 派遣留学 (長期)

留学一種ならびに留学二種 (留学期間を含んで 3 年間で卒業できる留学制度) を推進する。

特に今年度から新規にパーマストンノース・ボーイズスクール (ニュージーランド)

③ 派遣留学 (短期)

中学部 : セントポールカレッジ、高校 : シンガポールキャリア研修 (新規)、ニュージーランド短期留学、カナダ英語研修 (夏休み)、ハナ高等学校シンポジウムなどを実施する。

④ 受入留学

長期 (AFS、YFU など)、短期 (コリブリ、ハナ、北京、サンクトペテルブルグなど) を積極的に受け入る。

⑤ 学術協定締結校・機関等による交流の推進 (2024 年度に予定しているもの)

- ・ゲーテ・インスティテュート (PASCH 活動)

- ・ハナ高等学校（韓国）
- ・日露青年交流センター
- ・日仏高等学校ネットワーク・コリブリ
- ・エデュケーション・ニュージーランド
- ・パーマストンノース・ボーイズスクール（ニュージーランド）

⑥ その他（国際交流プログラムへの参加など）

- ・スタンフォード e-ジャパンプログラム（Stanford e-Japan Program）への参加
- ・ICC のスクールビジット（旧アウトリーチプログラム）への参加（中学部）

（５）その他

－（１）～（４）に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等－

① 上石神井キャンパス整備の推進（第三期工事）

第一期、第二期工事に引き続き、未着工の第三期工事の着工に向けて大学と引き続き交渉する。今回は、教員室、理科実験教室、家庭科室、食堂、ラーニングcommonsなど対象になる。高等学院の教育の特色を実現するのに相応しい校舎建設を目的とする。これらの整備を含め、安心・安全なキャンパスづくりを目指す。

② あらゆる災害から命を守る安心・安全なキャンパスづくり

引き続き、新型コロナウイルスに対応する感染拡大防止、首都圏大規模地震対策などを推進し、安心・安全なキャンパスづくりに心がける。

③ 新制高等学院創立 75 周年事業の実施

1949 年に新制高等学校として再出発した高等学院は今年度に 75 周年を迎える。そのため記念事業として 75 周年記念誌を発行する。

以上